

TOPICS

●ホンダ輸送グループ安全協議会 交通安全標語・ポスター表彰式

家族で交通安全を考える 標語・ポスターの表彰

7月25日、ホンダ輸送グループ安全協議会主催の「交通安全標語・ポスター表彰式」が鈴鹿サーキットホテルハーモニーホール(三重県鈴鹿市)にて開催された。



毎年、ホンダ輸送グループ安全協議会では、交通安全啓蒙活動の一環として「交通安全標語・ポスター」を各社の社員とその家族から募集し、表彰を行っている。

- ★「あげた手は あなたのマナー 信じる手 吾子も渡る 横断歩道」(日本梱包運輸倉庫(株)・古田唯)
- ★「家で待つ 家族の笑顔が見たいから 今日一日安全運転」(ホンダ運送(株)・山口勇)
- ★「子どもが見えたら まず徐行 遊ぶ心に 視野はゼロ」(株)ホンダ・エクスプレス・塚本浩信)
- ★「自信過剰が事故のもと 慣れより 勘より まず確認」(株)光明・丹羽孝)

この最優秀賞の標語は、「のぼり」にして、9月から行われる秋の全国交通安全運動から1年間、全社で掲げる。また、ポスターの部は、「家族につながる道しるべ」(ホンダ運送(株)・伊藤加与里)が最優秀賞に輝いた。

●交通リスクマネジメントセミナー 自社の交通事故防止対策を診断できるセミナー



7月19日、交通教育センターレインボー福岡と本田技研工業(株)九州法人営業所が、企業内で交通事故防止活動に取り組んでいる11社14名を対象に「交通リスクマネジメントセミナー」を開催した。

このセミナーの特徴は、参加体験実技、KYT(危険予測トレーニング)に加えて、企業内における交通事故防止活動のポイントを学ぶとともに、自社の交通事故防止対策が十分かを自己診断できる内容を交通教育センターとして初めて導入したことである。



安全に停止するための基本的なブレーキ操作を身につける



運転姿勢を意識しながら、各自がUターンの練習を行う

TRAFFIC ADVICE [(株)セルート]

★交通安全活動をサポートする

6月11日(株)セルートの配送員(バイク便ライダー)を対象にした実技講習회가、交通教育センターレインボー和光(以下、レインボー和光)で行われた。

「以前は、配送員に応募される方は普段からバイクを運転しているというケースがほとんどでした。しかし、ここ数年、自動二輪免許は持っているものの、バイクにはあまり乗っていないという方の応募が増えてきたのです。」

この日の受講者は3名。午後4時講習会は教室での座学からスタートした。レインボー和光のインストラクターが「安全運転のための3要素は『人』『クルマ』『環境』と言われます。この中でほとんどの事故の原因をつくるのは『人』。」



インストラクターが一人ひとりの運転技術に合わせてアドバイス

講習会を見守った神戸さんは、「インストラクターの方が見本を見せるだけでなく、一人ひとりに細かくアドバイスしていただけたので、受講した配送員は丁寧を実感できたと思います。」

続いて、実技。最初の課題はオフセットバイクの傾きをコントロールしながら、30km/hで走行し、直線コースの途中にあるバイクを前輪が通過したら、ブレーキを開始して、停止するトレーニング。

●ホンダテクニカルカレッジ関東

卒業後、就職先で安全運転普及活動ができる人材を育てる



交通安全活動を広げる



座席の合わせ方や車両点検の方法を学生がお互いに発表

- ※1 セーフティコーディネーター=お客様に、店頭などで安全アドバイスができるHondaの社内資格を持った四輪販売店のスタッフ。
- ※2 ライディングアドバイザー=お客様一人ひとりに、「オートバイの正しい取り扱い」「安全な乗り方」をお伝えし、安全で楽しいモーターサイクルライフをサポートする、Hondaの社内資格を持った二輪販売店のスタッフ。

自動車整備士および自動車開発技術者を養成する専門学校のカレッジ関東では、2年次にアクティブセーフティトレーニングパークもてぎにて2泊3日の安全運転講習を開催している。



二輪選択者は、オフロードバイクの安全な運転操作について学んだ



サーキットコースでの体験走行も行われた

四輪販売会社に就職を希望している原佑介さんは、「濡れた路面でのブレーキ体験が印象に残っています。普段の運転には体験できないことが理解できました。講習で教えていただいたことは、安全運転をする上でとても大事なことはかきりです。できる限り身につけたいと思います」と話してくれました。

同講習会は交通事故防止のため、ホンダの社内資格であるセーフティコーディネーターまたはライディングアドバイザーの資格取得も目的の一つとなっている。

学生の4輪または二輪販売店に就職します。お客様に対して安全運転普及活動ができる人材になってほしいと願っています」と語る。

NEWS REVIEW

●後部座席シートベルト着用促進イベント 全席、全員シートベルトを着用することが、命を守ることにつながる



写真右より、田中節夫(株)日本自動車連盟会長、沓掛哲男(国家公安委員会委員長、張富士夫(株)日本自動車工業会会長が来場し、自らもシートベルトコンベンサーを体験した

7月20日、新宿東口ステーションスクエアにて「後部座席シートベルト着用促進イベント」(主催(株)日本自動車工業会、社)日本自動車連盟が開催された。

- 活動短信 ●交通教育センター 7月
- 交通安全センターレインボー和光
- 交通安全センターレインボー埼玉
- 交通安全センターレインボー千葉
- 交通安全センターレインボー神奈川
- 交通安全センターレインボー新潟
- 交通安全センターレインボー富山
- 交通安全センターレインボー石川
- 交通安全センターレインボー福井
- 交通安全センターレインボー岐阜
- 交通安全センターレインボー愛知
- 交通安全センターレインボー三重
- 交通安全センターレインボー滋賀
- 交通安全センターレインボー京都
- 交通安全センターレインボー大阪
- 交通安全センターレインボー奈良
- 交通安全センターレインボー和歌山
- 交通安全センターレインボー徳島
- 交通安全センターレインボー香川
- 交通安全センターレインボー岡山
- 交通安全センターレインボー広島
- 交通安全センターレインボー山口
- 交通安全センターレインボー福岡
- 交通安全センターレインボー佐賀
- 交通安全センターレインボー長門
- 交通安全センターレインボー熊本
- 交通安全センターレインボー大分
- 交通安全センターレインボー宮崎
- 交通安全センターレインボー鹿児島
- 交通安全センターレインボー沖縄